

子どものモバイルアプリ利用に関する意識調査

保護者の8割 子にアプリ勧めることに前向き

子の「学習アプリに課金したい」 9割弱の保護者が学習意欲を評価

株式会社栄光(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:山本博之)が運営する進学塾・栄光ゼミナールは、2018年3月7日(水)～3月21日(水)に、子どものスマートフォン・タブレット端末でのアプリ利用に関する意識調査を実施し、小学1年生～高校3年生の子どもを持つ保護者701名の有効回答が得られました。

- 子どもにアプリを勧めたことがある 小学生保護者 **34.4%** 中高生保護者 **38.0%**
- 学習アプリの有料ダウンロードや課金 中高生保護者 **61.0%**「その都度検討する」
- 子どもから学習アプリの有料ダウンロードや課金をしたいと言われた時、
保護者の**9割弱**「学習意欲が出てきたことを褒める・喜ぶ」

栄光ゼミナール調べ

<調査概要>

調査対象:小学1年生～高校3年生の子どもを持つ栄光モニター会員

(栄光ゼミナール・大学受験ナビオ・栄光の個別ビザビに通塾する保護者)

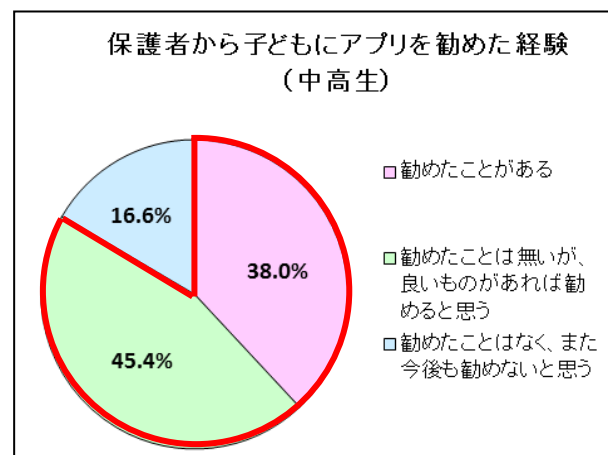
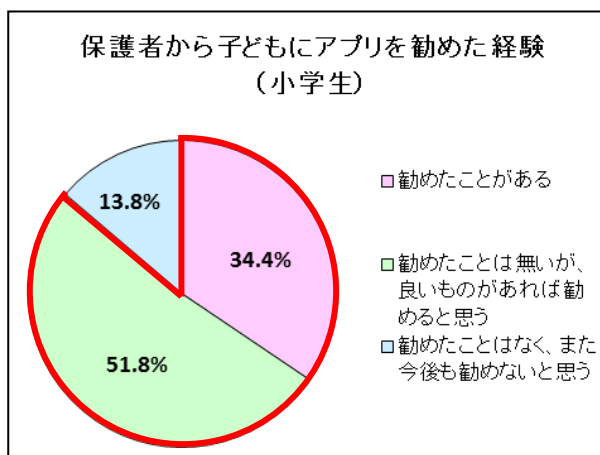
調査方法:インターネット調査

調査期間:2018年3月7日(水)～3月21日(水)

回答者数:701名(うち、小学生:426名(60.8%) 中高生:275名(39.2%))

保護者から子どもにアプリを勧めたことはありますか。

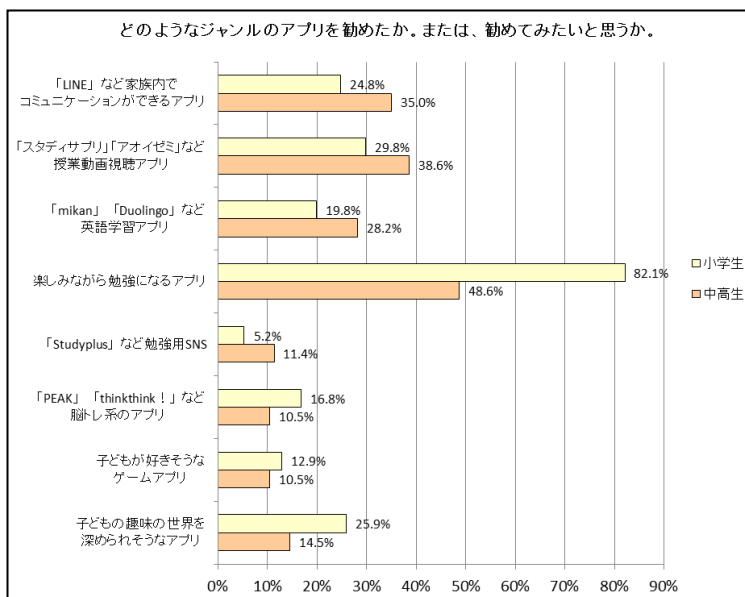
(n=692(うち小学生 421、中高生 271)、単一回答方式)



子どもにアプリを勧めたことがあるか聞いたところ、小学生の保護者 34.4%、中高生の保護者 38.0%が「勧めたことがある」と回答した。また、「勧めたことは無いが、良いものがあれば勧めると思う」と答えた保護者も含めると、小学生の保護者の 86.2%、中高生の保護者の 83.4%が良いアプリを活用させたいと思っていることが明らかとなった。

どのようなジャンルのアプリを勧めましたか。または、勧めてみたいと思いますか。

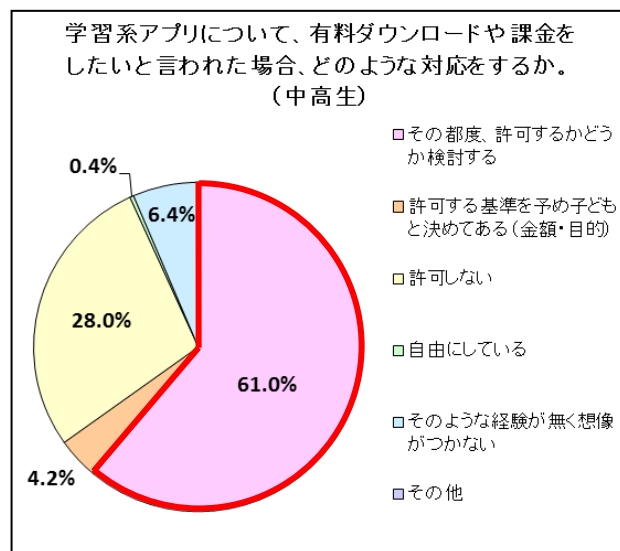
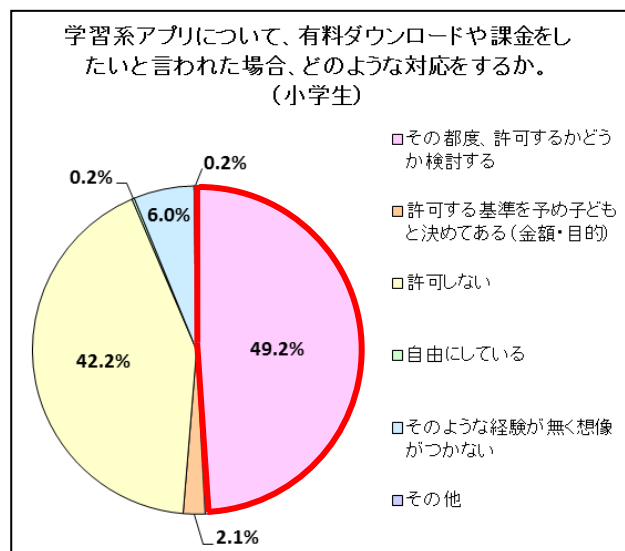
(n=583(うち小学生 363、中学生 220)、総回答数 1223、複数回答方式(あてはまるものすべて))



子どもにアプリを勧めたことがある、もしくは、良いものがあれば勧めると思う、と回答した保護者に、勧めた・勧めたいアプリのジャンルを聞いたところ、小学生の保護者の82.1%が「楽しみながら勉強になるアプリ」と回答した。中高生の保護者も「楽しみながら勉強になるアプリ」が最も多かったが、「授業動画視聴アプリ」にも関心が高く、約4割の保護者が勧めた・勧めたいと回答した。

学習系アプリについて、子どもから有料ダウンロードや課金をしたいと言われたとき、どのような対応をしていますか。

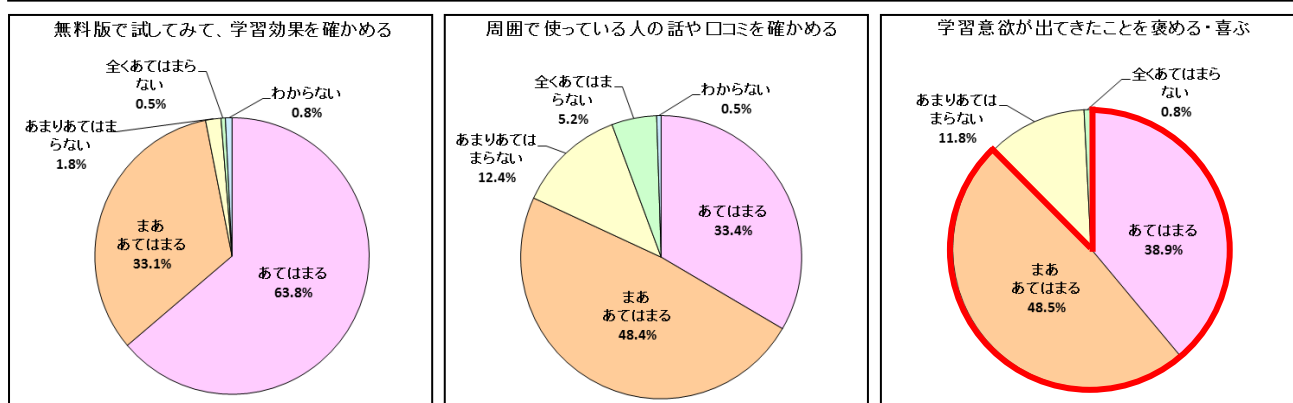
(n=683(うち小学生 419、中学生 264)、単一回答方式)



学習系アプリについて、子どもから有料ダウンロードや課金をしたいと言われた時、どのような対応をするかを聞いたところ、中高生の61.0%が「その都度、許可するかどうか検討する」と回答した。「許可しない」と回答したのは28.0%だった。一方、小学生の保護者で「その都度、許可するかどうか検討する」と回答した保護者は49.2%で、「許可しない」と回答した保護者が42.2%にのぼった。中高生の保護者の方が、学習系アプリへお金をかけることに、前向きであると考えられる。

学習系のアプリについて、有料アプリのダウンロードや課金を許可するかどうかを決める際の行動としてどのような行動があてはまりますか。

(n=386、単一回答方式)

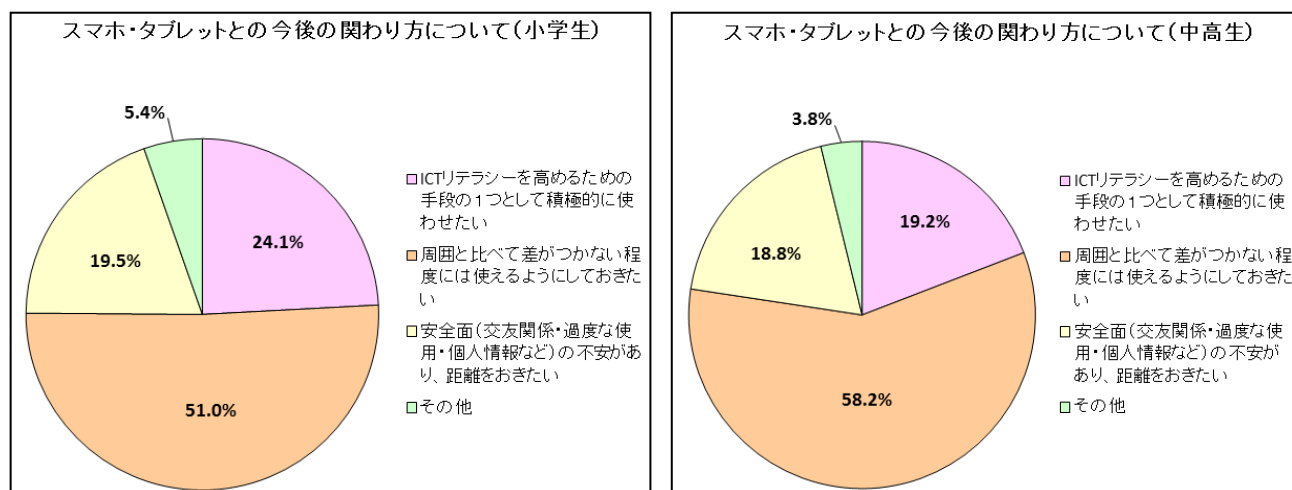


学習系のアプリについて、有料ダウンロードや課金を許可するかどうか決める際にどのような行動をとるか聞いた。「無料版で試してみて、学習効果を確認する」にあてはまる・まああてはまると回答した保護者は96.9%にのぼった。「周囲で使っている人の話や口コミを確認する」は、81.8%の保護者があてはまる・まああてはまると回答した。使っている人の話や口コミも参考にすが、実際に使用して学習に効果があるのかを見極めたいという保護者が多いと考えられる。

また、子どもが有料ダウンロードや課金をしたいと言ってきたことに対し、「学習意欲が出てきたことを褒める・喜ぶ」という行動を示す保護者は87.4%だった。小学生と中学生で比べると、小学生の保護者が「あてはまる」と回答し、中学生の保護者が「まああてはまる」と回答する傾向にあった。

子どものスマートフォン・タブレット端末との今後の関わり方についてどのように考えていますか。

(n=671(うち小学生 410、中学生 261)、単一回答方式)

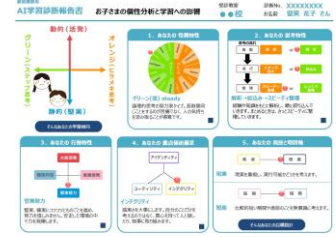


子どものスマートフォン・タブレット端末との今後の関わり方についてどのように考えているか聞いたところ、小学生・中学生どちらの保護者も過半数が「周囲と比べて差がつかない程度には使えるようにしておきたい」と回答した。一方で、「ICTリテラシーを高めるための手段の1つとして積極的に使わせたい」と回答した保護者は小学生の保護者の方が、中学生の保護者よりも多く、4.9ポイント高かった。

【栄光のICT活用】

<12,288 パターンの学習特性がわかる！AI学習診断>

今年5月より、「栄光ゼミナール」「栄光の個別ビザビ」「栄光ゼミナール大学受験ナビオ」では、「AI学習診断」を導入しています。童話『三匹の子ぶた』を基にした10問の質問に回答し、子どもの【学習に関わる特性】を分析。苦手単元やつまずきの原因と対策、特性に合った最適な学習アドバイスを提示します。



<小学2年生から高校生までのオンライン学習>

栄光では、塾と家庭をつなぐ学習システム「CATS@Home」を小学2年生から高校生までの全塾生に提供しています。学習単元や模試の解説動画の視聴、プリント作成など、パソコンやタブレット端末で利用できます。



<高校生向け スピーキング対応英語テキスト>

2018年度より、「栄光ゼミナール大学受験ナビオ」では、授業で使用している英語テキストに、スピーキング機能を追加しました。スピーキングアプリ「MyET」を導入し、生徒がテキストに出てくる英文を読み上げると、発音・ピッチ・リズム等が得点化して表示されます。新大学入試で必要とされている英語4技能のスピーキング力を鍛えます。



会社概要

中学受験、高校受験対策の学習塾「栄光ゼミナール」や個別指導で目標達成へ導く学習塾「栄光の個別ビザビ」、高校生対象の大学受験対策塾「大学受験ナビオ」等、首都圏を中心に全国 700 教室超を展開しています。生徒の学ぶ意欲を引出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えていきます。

そのほか、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室等も運営しています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目 11 番 11 号

代表： 代表取締役社長 山本 博之

設立： 1980 年7月

本件に関する問い合わせは

Z会ホールディングス広報 大久保・渡辺

電話：03-5275-1685 Fax :03-5275-1679 Mob :070-4036-1980

メールアドレス：hiroko-okubo@zkai-hd.co.jp